

令和3年度 第12回 政策調整会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和4年3月7日（月） 14：00～15：00
 - ◆開催場所：第2委員会室
 - ◆出席委員：堤副市長、戎井副市長、大下教育長、西川総合政策部長、残総務部長、寺本財務部長、松下まちづくり推進部長
-

◆審議事項

- ・岸和田市次期総合計画基本構想案及び基本計画素案、都市計画マスタープラン（全体像・試案）について・・・・・・企画課、都市計画課⇒承認
-

◆審議概要

『岸和田市次期総合計画基本構想案及び基本計画素案、都市計画マスタープラン（全体像・試案）について』

〈説明者〉貝口企画課長、中井担当長、前田主任、上田担当員
山田都市計画課長、藤井参事

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈堤副市長〉将来ビジョン・岸和田の基本構想において、「岸和田市の特性」の記載があるが、その後「特性」と「特徴」の両方の言葉が出てくるので、使い分けの整理が必要。

都市計画マスタープランにおいて、まちづくりテーマと将来ビジョン・岸和田の基本目標との関連性を示した表のうち、「交流と連携を高める交通網づくり」等を含むまちづくりテーマ「多彩な魅力と活力を備えたまちづくり」が、基本目標の「安全で安心して暮らせるまち」と関連付けが必要。「交通網」と「安全で安心して暮らせるまち」は関わりが深いのではないかと。再度見直すこと。

〈戎井副市長〉まず、将来ビジョン・岸和田の基本構想について。「革新的技術への対応と活用」の記載の中で、「Society5.0の実現に向けて取り組むことが求められています」とあるが、Society5.0を実現させた上で、本市において何がしたいかという方向性を説明する必要があるのではないかと。

次に、将来ビジョン・岸和田の基本計画の内容について。個別目標「平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている」の方向性の1つ目「個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する」において、口頭での説明の際には「LGBT」について触れていたが、記載はない。「年齢や性別、国籍、障害の有無など」に加えて、例示の1つとして記載してはどうか。また、個別目標「岸和田の魅力が伝わって

いる」の方向性「まちのイメージを向上させる環境づくりを進める」については、岸和田市へ定住意向のない方が「住み続けたくない」理由として最も挙げているのが「まちのイメージが悪い」であるので、非常に重要な項目である。しかし、現状と課題に記載されているような観光や文化等の認知度に起因することなのかについては疑問がある。さらに分析し、細かい項目を設けるべきではないか。

最後に、都市計画マスタープランについて。広域連携の強化に関する展開イメージの図において、泉州山手線とサイクルルートを示す線が同じ色であり、一見すると通常の道路のように見えてしまう。凡例の色分けなど、わかりやすいよう見直しを。淡路島のサイクルルートに記載している理由は何か。

〈藤井参事〉淡路島のサイクルルートについては、大阪府全体の取組みとして、淡路島を含め連携することとしているため、記載している。

〈戎井副市長〉「社会状況の変化に対応する展開イメージ」の表がわかりづらい。項目の順番は、将来ビジョン・岸和田の「社会状況の変化」と連動させてはどうか。また、同じ表内の「関連が深い項目」とは何と何との関連なのかがわからない。わかりやすいよう整理されたい。「革新的技術社会への対応」として、「自然やオープンスペース、歴史・文化資源等の活用」とあるが、この2つの結びつきがわからない。

〈藤井参事〉現状と課題に記載している「オンラインでは代替しがたい体感・体験に対するニーズが高まって」いることに対応する方向性として記載している。

〈教育長〉内容と標題のミスマッチが起こっている。無理に標題を付す必要はないのでは。

〈藤井参事〉検討する。

〈教育長〉基本構想に、ダウンサイジングについての記載が入ったのは喜ばしい。ダウンサイジングの目的は縮小ではなく、縮小することにより、維持・充実・発展を図ることであることを強調されたい。基本構想の将来像に係る文章のうち、最初の2段落は、前までのページの社会状況の変化を受けているものと思うが、これが後の基本目標の体系図にどのように反映されているのかが不明確である。様々な施策を展開していく上で押さえておくべき基本的な考え方や背景であることがわかりやすいようにされたい。また、全体を通して「自治」や「協働」という言葉が多く、行政の役割や主体性が曖昧になっている。

基本計画について、今回は大きな枠組みの確認で、これから担当課への照会等を通じて内容を充実させていくという理解でよいか。

〈中井担当長〉各課からの回答を反映し、総合計画審議会においてご意見をいただきながら修正を加えていく。

〈教育長〉現在取組を進めている市立幼稚園及び保育所の再編や民間も含めた障害児の受け入れ態勢の充実、小・中学校適正規模及び適正配置、図書館のあり方についての記載がないので、これから内容を深めてもらいたい。また、人権に係る個別目標の部分に、「人権尊重」という言葉を入れてもらいたい。欄外にある「副担当部」とは何か。

〈中井担当長〉規定はないが、関係する部という意味合いで使用している。

〈教育長〉主・副の位置づけが難しいこともあるのではないかと。個別目標「健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している」の方向性に、あえて「重症化予防」を記載した理由は何か。新型コロナウイルス感染症においては、医療機関と密接に関係してくる内容である。

- 〈中井担当長〉生活習慣病等を想定しており、重症化を予防することで、医療費の削減等につながるため記載している。
- 〈教 育 長〉「広域的視点からみた岸和田市の特徴」として、生活利便施設近接に係る図が掲載されているが、どのように読むのかがわかりづらい。文章の中に説明を入れてもらいたい。「社会状況の変化に対応する展開イメージ」の表において、「人口減少や超高齢社会への対応」のポイントとして「地域で集う場づくり」とあるが、現在、市として公民館等社会教育施設の再編を進めているところで、相反してくるのでは。
- 〈藤 井 参 事〉適切な数への再編は必要だが、高齢者等が孤立しないよう、場としては不可欠であるという視点で記載している。
- 〈教 育 長〉「地域拠点の形成」のゆめみヶ丘岸和田に係る説明で、「隣接する教育機関」とあるが、何を指すか。
- 〈藤 井 参 事〉職業能力開発大学校等を指している。
- 〈教 育 長〉職業能力開発施設であり、教育機関ではないため、記載を見直されたい。
- 〈財 務 部 長〉基本構想について。「財政状況への新たな対応」として、「新たな課題に対して迅速かつ柔軟に対応できる組織の運営が求められています」とあるが、財政状況への対応と組織の運営が結びつかず、違和感がある。意図があるならば、わかりやすく記載されたい。また、軸の設定について、「地域連携軸により海と山をつなぎ、…市域内及び市域を越えた交流・活動の発展を推進」とあるが、軸の設定がどのように絡んでいるのか、市民が理解しやすいよう、わかりやすい表現になるよう検討を。
- 〈総 務 部 長〉今後の作り込みに関して、SDGs の 17 のゴールそれぞれのコンセプトカラー、3つの視点のカラーなどの色使いについて、同様の内容の部分はカラーを統一すること。また、都市計画マスタープランにおいては多くの写真を掲載しているが、こういった写真なのか問われることがあるため、キャプションをつけておくと良い。
- 〈総合政策部長〉今後のスケジュールはどのようになっているか。
- 〈中井担当長〉基本構想は、令和4年12月の市議会に提出を予定している。令和4年夏ごろにパブリックコメントを実施し、総合計画審議会でも意見をいただきながら案をブラッシュアップしていく。政策調整・決定会議では専門委員会の適宜進捗状況の報告を行う。
- 〈総合政策部長〉本案件について、一部修正のうえ政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、一部修正のうえ承認し、政策決定会議に付議する。

令和4年2月 22 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 総合政策部長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田市次期総合計画基本構想案及び基本計画素案、都市計画マスタープラン(全体像・試案)について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、 簡潔に記載すること。)	令和5年度スタートの次期総合計画の基本構想案及び基本計画素案の検討についての進捗状況報告とともに、総合計画審議会の資料として用い、意見聴取を行うことについて付議するものです。 また、都市計画マスタープランの見直しについての進捗状況として、「全体像・試案」の報告を行うとともに、本試案をもって都市計画審議会にて意見聴取を行うことについて付議します。
説明者	貝口 企画課長、中井 政策担当長、前田 担当員、上田 担当員 山田 都市計画課長、藤井 都市計画担当特命参事
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	令和3年度 第12回会議
付議事項	岸和田市次期総合計画基本構想案及び基本計画素案、都市計画マスタープラン(全体像・試案)について

★取組の目的

対象	市民
どのような状態を目指す	総合計画は、自治基本条例の理念にある「市民自治都市の実現」に向けて、市政運営の方向性を明らかにする役割を担っており、行政のみならず、市民や議会とともに策定し、市民みんなのめざすまちの姿としての総合計画をめざす。なお、総合計画の策定と都市計画マスタープランの見直しを連携し進めることで、具体的な都市の将来像と都市計画の指針について一体的に進める。

★総合計画上の位置付け

202010201	基本目標	Ⅱ-2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	①行政の責務が果たされていることを市民が実感できている
	目指す成果	②明確な目標設定と評価により行政運営が行われている
	行政の役割	ア 目標の達成に向けて、計画的な施策の推進と適正な進行管理に努める

★現状と課題

<p>第4次総合計画では、21世紀型の新しい仕組みづくりとして、市民参加、地域経営の視点から、岸和田市自治基本条例の理念を具体化する役割を担う「市民みんなの総合計画」として位置付け、積極的な市民参加による総合計画の策定を実施してきたが、一方で市民による継続的な認知につなげていない。そこで、地域自治、公民協働のさらなる向上をめざし、市民参加による策定過程を重視した計画づくりとするとともに、まちづくり主体者の新たな連携の創出や多様な資源の活用など、少子、高齢社会における持続可能な地域づくりのための「みんなの総合計画」として策定していく必要がある。</p>
--

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R1年度	R2年度		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
とことん懇話会の開催、基礎調査、アンケート調査、団体ヒアリング等の運営補助委託費【～令和3年3月末】		12,815						
とことん懇話会の開催、庁内検討会議及び総合計画審議会運営、地区説明会の開催等運営補助及び計画書の作成委託費【令和3年4月～令和5年1月末】			10,538	9,999				
次期総合計画印刷、配布、広報【令和5年1月～令和5年3月末】				2,833				
総合計画の進行管理	16	16	16	16	16	16	16	16
都市計画マスタープラン基礎資料及び策定支援委託費		1,920	2,260	1,400				
都市計画マスタープラン印刷、広報【令和5年3月～4月頃】				850				
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源	16	14,751	12,814	15,098	16	16	16
	その他							
事業費			計	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
			15,162	15,098	16	16	16	16

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
有					
	(無)				

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R1年度	R2年度	R3年度	目標値				
					R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
① 市民の声が市政に反映されていると感じている市民の割合	%	7.3	10	7.6	7.8				
② 市役所は目標の達成に向け、計画的に施策を推進していると感じている市民の割合	%	12.1	14.4	11.7	11.6				

※事業費及び人員を確約するものではない。